

DRUG topics

発行所 株式会社 ドラッグマガジン

本社 〒101-0021 東京都千代田区外神田四丁目9-8 神田石川ビル3階 電話03(3525)8160

http://www.drugmagazine.co.jp/

発行日 毎月1回月曜日発行 購読料 1か年20,228円(消費税込み)

楽天ランキング1位更新中! ROTIS 03-3444-6467

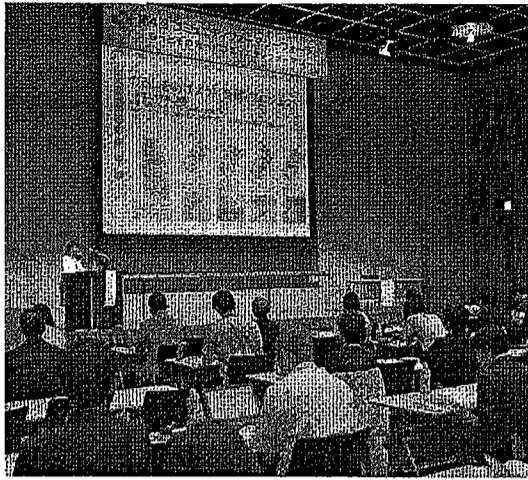
みどりよしダイエット

キングバイオ

<総代理店> ウェルネスジャパン

WELLNESS JAPAN

「信頼度1位の薬剤師が 制度持続に貢献を」



「保健医療2035策定懇談会」の事務局長を務め、政府の医療に対する政策の方向性にも詳しい小野崎耕平氏は、先ごろ都内で講演し、症例のデータ化・共有化による医療の効率化実現を訴えた。これは7月23日に開かれた日本コミュニケーションファーマシー協会(JAOPF)主催の「第4回コミュニケーションファーマシーフォーラム」で講演したものだ。「生活者から一番の信頼を受けているのは薬剤師」とも述べ、イノベーションと制度持続可能性の両立に向けた薬剤師の役割の大きさを指摘した。

臨床データ活用と絡む診療報酬体系を提起

元「保健医療2035策定懇談会」事務局長の小野崎氏が講演



吉岡のり子

「保健医療2035」(以下、「保健医療2035」)の下、提言書の事務局長を務めた日本医療政策機構理事の小野崎耕平氏が登壇。

同提言書はリンヘルスケア(医療の価値向上)や主体的選択の後押し、グローバル化への対応などによって、世界最速の高齢化と認知症の進行に日本が対応し、ヘルスケア分野での世界的リーダーとなることを訴え、15年に世に出された。

世界には、保健医療システムのない国も多く、

自己責任論の強い米国における自己破産事由1位が人命を救うための「医療」となっている。国民皆保険と絡めた日本の優れた医療ケアシステムの存在が際立つものの、近年、環境は様変わりした。医療費の激増や先に上げた高齢化と人口減少、認知症や生活習慣病の問題

をほじめてとする多様化するニーズへの効果的な対応にわが国は迫られている。

小野崎氏は「イノベーション(技術革新)と持続可能性をいかに両立するか」がカギとして、より一層の情報共有化と医療関係者向けの臨床データの活用で効率化された

症例データの蓄積を医療にアウトカムせよ

同フォーラムは、薬剤師および薬局に与えられた職能と機能に社会的役割と責任を備え、健全な地域社会づくりに貢献する「コミュニケーションファーマシー(地域薬局)の創造を目指して13年より始められた。

JACP代表理事の吉岡ゆうこ氏は開催あいさつで、メインテーマの一つで「コミュニケーションファーマシー」を取り上げ、「Think globally, act locally」の表現を主張。広い視野ととも

併せて、日本医療政策機構が16年に発表した「医療関係者・組織に対する信頼感調査(n=1000)」をスライドで説明。医療関係者中、最も信頼が寄せられているのが薬剤師であるという結果(薬剤師83%、看護師81%、医師78%を前に、患者にとって一番身近な存在である薬剤師による「地域を巻き込み、そして地域に巻き込まれよう」が発表された後、拍手が起るなど、地域医療システムの進展に向けた強い意気込みが示された。

【本紙編集部】折原 賢

「保健医療2035」(以下、「保健医療2035」)の下、提言書の事務局長を務めた日本医療政策機構理事の小野崎耕平氏が登壇。

同提言書はリンヘルスケア(医療の価値向上)や主体的選択の後押し、グローバル化への対応などによって、世界最速の高齢化と認知症の進行に日本が対応し、ヘルスケア分野での世界的リーダーとなることを訴え、15年に世に出された。

世界には、保健医療システムのない国も多く、

自己責任論の強い米国における自己破産事由1位が人命を救うための「医療」となっている。国民皆保険と絡めた日本の優れた医療ケアシステムの存在が際立つものの、近年、環境は様変わりした。医療費の激増や先に上げた高齢化と人口減少、認知症や生活習慣病の問題

をほじめてとする多様化するニーズへの効果的な対応にわが国は迫られている。

小野崎氏は「イノベーション(技術革新)と持続可能性をいかに両立するか」がカギとして、より一層の情報共有化と医療関係者向けの臨床データの活用で効率化された

併せて、日本医療政策機構が16年に発表した「医療関係者・組織に対する信頼感調査(n=1000)」をスライドで説明。医療関係者中、最も信頼が寄せられているのが薬剤師であるという結果(薬剤師83%、看護師81%、医師78%を前に、患者にとって一番身近な存在である薬剤師による「地域を巻き込み、そして地域に巻き込まれよう」が発表された後、拍手が起るなど、地域医療システムの進展に向けた強い意気込みが示された。

【本紙編集部】折原 賢



小野崎耕平氏 ●1969年三重県生まれ。米国での製薬企業への勤務経験を経て、2007年に日本医療政策機構(HGPI)に参画。医療政策担当ディレクター、事務局長代行として政策提言・研究に従事。政府においては、厚生労働省保健医療政策担当参与の他、厚生労働大臣の私的懇談会「保健医療2035策定懇談会」事務局長などを歴任。

現在、行政による医療インフラや街づくりから始めるハード面での役割は健康

【本紙編集部】折原 賢

特集

日本家庭薬協会(大阪篇) 4~9面

育児関連製品 13~19面

今のりにこえたい 疲れに

アリナミンV

アリナミンV ZERO

アリナミンV、アリナミンVZEROは、身体疲労時の栄養補給。医療機関に「指定医薬品外品」

武田コンシューマヘルスケア株式会社 東京都千代田区丸の内一丁目8番2号 〒100-0005

「お客様相談室」フリーダイヤル 0120-567-087 受付時間 9:00~17:00(土、日、祝日を除く)

アリナミン

アリナミンV

アリナミンV ZERO